

グループ協議の進め方

『指導案の問題点を
改善する』

卒業文集最後の二行

一戸 冬彦

「思い出となれば、みな懐かしく美しい」と俗に言われるが、それは過去を美化しているか、時間の経過とともに風化してくれるのをよいことに、つらい体験や苦い思い出を忘れようと「努力」しているに過ぎまい、と私は勝手に解釈している。

生来、気位が高く、不遜極まりない性格の私だが、こんな私でもこの場を借りてさんげしたい、いや、せすにはいられない出来事がある。深い深い後悔。取り返しのつかない心の傷だ。

時は、小学校時代に遡る。

同級生にT子さんという女の子がいた。彼女は早くしてお母さんを亡くし、二人の弟さんの面倒もみなければならなかった。お父さんは魚の行商である。

つまり、Tさんは母親代わりといってよい。しかも、お父さんの仕事があまりかんばしくないよう、経済的にも恵まれず、その頃の時代にしても彼女の服装はみすばらしいというより、正直言って汚かった。

今にして思えば、経済面からもそうであろうが、母親代わりという生活環境から、自分の身の回りを構っているどころではなかったのである。

そのTさんが、六年生のとき私の隣の席になった。加えて、運の悪いことに彼女よりちよつとばかり成績も良く（もつともTさんも上位の成績だった）、金銭的にも幾分恵まれた生徒たちが彼女の席を取り囲む形になった。

生意気で口の悪い私は、先頭に立ってTさんをけなした。

「きたねえから、もつと離れる。」

この私の言葉に悪童たちは、更にはやし立てた。

「臭いがら、誰もT子に近付くなじゃ。」

「毎日風呂呂さ入って頭を洗って来いよ。」

こうした嫌がらせにも、Tさんは泣きもせずじっと堪えた。ほおを紅潮させながらも歯を食いしばって、涙を見せもしなかった。泣いたり涙を見せたりすると、我々にもつとばかにされ、いじめられると思ったのであろう。



しかも、Tさんは、担任に一度もそのことを言わなかった。担任のM先生は校内でも屈指の怖い先生なのである。M先生に告げれば我々はこっぴどく叱られ、自分も一層惨めになると考えたのではない。卑怯な我々は、Tさんが担任に言わないのを知って、更に輪をかけて口汚く罵り続けた。

ねらいについて

筆者が犯した罪業について

加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて話し合ったり自分の考えを書いたりする活動を通して、誰とでも公平に接することのできる判断力を育てる。

＜小学校高学年＞

周囲の雰囲気や人間関係に流されないような
道徳的判断力

＜中学校2～3年＞

同調圧力に流されないで、
必要に応じ自分の意志を
強くもてるような
道徳的判断力

1、自己紹介

2、教材を読む

3、次の視点で、指導案を読む

①ねらいと中心発問の関連(ねらいは、固定。)

②指導及び留意点(教師の手立て)

③学習活動の流れ(時間に無理はないか等)

4、付箋紙に自由に意見を書く。

(肯定的な意見。否定的な意見)

5、模造紙に貼りながら、意見の交流

・マジックなどで、自由に書いていく。

・変更する点とそのまま生かす点を明確にする。

・疑問点は、指導主事に質問する。

・全体を作り変えるのではなく、部分的に改善する方向で協議を行う。

6、発表(1~2グループ)

学習態度・生活習慣	学習活動・生徒の反応	指導上の留意点
<p>学習態度・生活習慣</p> <p>学習態度・生活習慣</p> <p>学習態度・生活習慣</p>	<p>学習活動・生徒の反応</p> <p>学習活動・生徒の反応</p> <p>学習活動・生徒の反応</p>	<p>指導上の留意点</p> <p>指導上の留意点</p> <p>指導上の留意点</p>
<p>学習態度・生活習慣</p> <p>学習態度・生活習慣</p> <p>学習態度・生活習慣</p>	<p>学習活動・生徒の反応</p> <p>学習活動・生徒の反応</p> <p>学習活動・生徒の反応</p>	<p>指導上の留意点</p> <p>指導上の留意点</p> <p>指導上の留意点</p>

個人
の活動

感情的
の反応

感情的
の反応

感情的
の反応

自己中心
の活動

自己中心
の活動

自己中心
の活動

2週
の活動

2週
の活動

2週
の活動

3分
の活動

3分
の活動

3分
の活動

教師の
談話は
必要
なのか?

3.身近な
法や整理は
何のために
あるのだ3分??

学習態度・生活習慣

学習態度・生活習慣

学習態度・生活習慣

学習態度・生活習慣

学習態度・生活習慣

学習態度・生活習慣

グループ協議のまとめ

教材「卒業文集最後の二行」…「私たちの道徳」中学校用に掲載。

【公正、公平、社会正義】
正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

①ねらい

【学習の中心】…筆者が犯した罪業について、
【学習活動】…加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて話し合ったり自分の考えを書いたりする活動を通して、
【課題(方向目標)】…誰とでも公平に接することのできる判断力を育てる。

②めあて等の設定例

めあて…差別や偏見のない社会の実現について考えよう。

中心発問…丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。

整理…
○自身の弱さから人を大きく傷つけることがあることについて。
○被害者の立場から、本人に努力ではどうにもならないことがあることについて。

振り返り…筆者のように心の傷を抱えないために今の自分にできること(すべきこと)が。

③板書例

○筆者のような苦しみを抱えないため

加害者 被害者

丁子

○自分なら正直に打ち明けるか、
・ 責めを認めたくない。
・ 勇気がない(怖さ)。
・ 周りの信頼を失いたくない。

○丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。
・ 心と口とを違えてしまった。
・ 丁子さんに申し訳ない。
・ 謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。

挿絵

卒業文集最後の二行

④評価について(例)

【学習状況を把握するための評価の観点】
加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて書いたり、発言したりしている。

【評価の方法(いつ、どのようにして)】
・ グループでの話し合いの様子や全体での発言から見取っていく。(机間指導)
・ ワークシートの記述から見取っていく。

⑤授業展開例

	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導及び留意点
導入	1.教材への問題意識をもつ。 ○教材文のおおまかな内容を聞く。		・ねらいに関わる問題意識をもたせる。 ・2～3人程度発表させる。
展開	2.教材を読んで、話し合う。 ○テストを返されたあと、自分だったら正直に打ち明けることができるだろうか。	・自分の責めを認めたくない。 ・勇気がない。 ・周りの信頼を失いたくない。	・状況把握するため、グループで役割を決めて着議する。 ・ここでは時間をかけすぎないようにする。
	中心発問 ○丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。	A 自分はとてもひどいことをしてしまった。 B 丁子さんに申し訳ない。謝りたい。 ○謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。どうすればいいのか。	・丁子さんの卒業文集から伝わる思いを取り上げながら、考えを深めさせる。 ・ワークシートに自分の考えを書かせる。
		・グループで話し合ったこと、全体で共有する。	・組で考えた意見をもとに筆者が感じた思いを話し合わせる。 ・考えの機軸を必ず述べるようにさせる。
終末	3.学習したことを自身の生活とつなげて考える。 ○筆者のような(丁子さんのような)苦しみを抱えないために、今の自分にできること(すべきこと)をノートに書こう。		・特に発表させたりせず、考えたままをワークシートに記述させる。

中心発問が、ねらいと直結していない。

教材「卒業文集最後の二行」…「私たちの道徳」中学校用に掲載。

【公正、公平、社会正義】
正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

①ねらい

- 【学習の中心】… 筆者が犯した罪業について。
- 【学習活動】… 加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて話し合ったり自分の考えを書いたりする活動を通して、
- 【読後(方向目標)】… 誰とでも公平に接することのできる判断力を育てる。

②めあて等の設定例

- めあて… 差別や偏見のない社会の実現について考えよう。
- 中心発問… 丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。
- 整理… ○自身の弱さから人を大きく傷つけることがあることについて。
○被害者の立場から、本人に努力ではどうにもならないことがあることについて。
- 振り返り… 筆者のように心の傷を抱えないために今の自分にできること(すべきこと)は何か。

③板書例

六月一日 第七回通読で「卒業文集最後の二行」で

描絵

○自分なら正直に打ち明けるか、

- ・ 勇気がある(描絵)
- ・ 勇気がない
- ・ 周りの信頼を失いたくない

○丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。

- ・ 心とけいことをしてしまった
- ・ 丁子さんに申し訳ない
- ・ 謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない

○筆者のような苦しみを抱えないため

加害者 被害者 丁子

④評価について(例)

【学習状況を把握するための評価の観点】
加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて書いたり、発言したりしている。

【評価の方法(いつ、どのようにして)】

- ・ グループでの話し合いの様子や全体での発言から見取っていく。(机間指導)
- ・ ワークシートの記述から見取っていく。

⑤授業展開例

	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導及び留意点
導入	1.教材への問題意識をもつ。 ○教材文のおおまかな内容を聞く。		・ ねらいに関わる問題意識をもたせる。 ・ 2～3人程度発表させる。
展開	2.教材を讀んで、話し合う。 ○テストを返されたあと、自分だったら正直に打ち明けることができるだろうか。 【中心発問】 ◎丁子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。	・ 自分の責けを認めたくない。 ・ 勇気がない。 ・ 周りの信頼を失いたくない。 A 自分はとてもひどいしまった。 B 丁子さんに申し訳ない。 ○謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。どうすればいいのか。	・ 状況把握するため、グループで役割を決めて書読する。 ・ ここでは時間をかけすぎないようにする。 教師の範読が望ましい。 ・ ワークシートに自分の考えを書かせる。 ・ 個で考えた意見をもとに筆者が感じた思いを話し合わせる。 ・ 考えの機軸を必ず述べるようにさせる。 【整理(まとめ)】 ・ 各組の採まった考えをいくつか取り上げ、加害者側と被害者側の視点で整理し、まとめとする。
終末	3.学習したことを自身の生活とつなげて考える。 ○筆者のような(丁子さんのような)苦しみを抱えないために、今の自分にできること(すべきこと)をノートに書こう。		・ 特に発表させたりせず、考えたままをワークシートに記述させる。

教材「卒業文集最後の二行」…「私たちの道徳」中学校用に掲載。

【公正、公平、社会正義】
正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

①ねらい

【学習の中心】…筆者が犯した罪業について。
【学習活動】…加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて話し合ったり自分の考えを書いたりする活動を通して、
【読後性(方向目標)】…誰とでも公平に接することのできる判断力を育てる。

②めあて等の設定例

めあて…差別や偏見のない社会の実現について考えよう。

中心発問…T子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。

整理…
○自身の弱さから人を大きく傷つけることがあることについて。
○被害者の立場から、本人に努力ではどうにもならないことがあることについて。

振り返り…筆者のように心の傷を抱えないために今の自分にできること(すべきこと)は何か。

③板書例

六月一日 第七回道徳
「卒業文集最後の二行」

挿絵

○自分なら正處に打ち明けられるか。
・ 責めを認めたくない。
・ 勇気がない。
・ 周りの信頼を失いたくない。

○T子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。
・ 心とけいことをしてしまった。
・ T子さんに申し訳ない。
・ 謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。

○筆者のような苦しみを抱えないため

加害者
被害者
T子

④評価について(例)

【学習状況を把握するための評価の観点】
加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて書いたり、発言したりしている。

【評価の方法(いつ、どのようにして)】
・ グループでの話し合いの様子や全体での発言から見取っていく。(机間指導)
・ ワークシートの記述から見取っていく。

⑤授業展開例

	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導及び留意点
導入	1.教材への問題意識をもつ。 ○教材文のおおまかな内容を聞く。		・ ねらいに関わる問題意識をもたせる。 ・ 2～3人程度発表させる。
展開	2.教材を読んで、話し合う。 ○テストを返されたあと、自分だったら正處に打ち明けられるだろうか。 中心発問 ◎T子さんの作文を読んだあと、筆者はどんなことを感じただろうか。 めあて A 自分とはとてもひどいことをしてしまった。 B T子さんに申し訳ない。謝りたい。 ○謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。どうすればいいのか。 ○自分で考えたことをグループで共有し、それぞれの考えをもとに話し合う。 ○グループで話し合ったこと、全体で共有する。	・ 自分の責めを認めたくない。 ・ 勇気がない。 ・ 周りの信頼を失いたくない。 A 自分とはとてもひどいことをしてしまった。 B T子さんに申し訳ない。謝りたい。 ○謝ったほうがいいと思うが、周りのみんなにも嫌われたくない。どうすればいいのか。 ○自分で考えたことをグループで共有し、それぞれの考えをもとに筆者が	・ 状況把握するため、グループで役割を決めて着議する。 ・ ここでは時間をかけすぎないようにする。 ・ T子さんの卒業文集から伝わる思いを取り上げながら、考えを深めさせる。 ・ ワークシートに自分の考えを書かせる。 ・ 考えた意見をもとに筆者が
終末	3.学習したことを自身の生活とつなげて考える。 ○筆者のような(T子さんのような)苦しみを抱えないために、今の自分にできること(すべきこと)をノートに書こう。		・ (まとめ) ・ 座の深まった考えをいくつか取り上げ、加害者側と被害者側視点で整理し、まとめとする。 ・ 発表させたりせず、考えたままワークシートに記述させ

○ワークシートをファイリングしていく工夫を。

○道徳科にも、各教科同様にノートの活用を。

展開例(参考資料)代案

ダウンロード可

教材「卒業文集最後の二行」…「私たちの道徳」中学校用に掲載。

【公正, 公平, 社会正義】

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

①ねらい

【学習の中心】

筆者が犯した罪業について。

【学習活動】

加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて話し合ったり自分の考えを書いたりする活動を通して、

【読者(訪問者)】

誰とでも公平に接することのできる判断力を育てる。

②めあて等の設定例

めあて

差別や偏見のない社会の実現について考えよう。

中心発問

筆者の一番の罪業は何か。

整理

○自身の弱さから人を大きく傷つけることがあることについて。

○被害者の立場から、本人に努力ではどうにもならないことがあることについて。

振り返り

筆者のように心の傷を抱えないために今の自分にできること(すべきこと)は何か。

③板書例

六月一日 第七回道徳
「卒業文集最後の二行」

○筆者のような苦しみを抱えないために……

挿絵

○筆者の一番の罪業は何か。
・被害者の中心になっていじめた。
・T子さんの大逆無道な理解しなかった。
・謝る勇気がなかった。

○自分なら正直に打ち明けるか。
・責任を認めたくない。
・勇気がない(怖い)。

④評価について(例)

【学習状況を把握するための評価の観点】

加害者側の問題状況や被害者の気持ちなどに目を向けて書いたり、発言したりしている。

【評価の方法(いつ、どのようにして)】

- ・グループでの話し合いの様子や全体での発言から見取っていく。(机間指導)
- ・道徳ノートの記述から見取っていく。

⑤授業展開例

	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導及び留意点
導入	1. 教材文のおおまかな内容を聞き、 教材への問題意識をもつ。		・ねらいに関わる問題意識をもたせる。 ・無理に発表はさせない。生徒に問いをもたせることが大切。 (あえて、聞かせる)。
展開	2. 教材を讀んで、話し合う。 ○テストを返されたあと、自分だったら正直に打ち明けることができるだろうか。 【中心発問】 ○筆者の一番の罪業は、何か。 ・筆者の罪業について、個で考える。	・自分の責任を認めたくない。 ・勇気がない。 ・周りの信頼を失いたくない。	・教材は教師が讀み聞かせる。 ・ここでは時間をかけすぎないようにする。 ・道徳ノートに自分の考えを書かせる。 ・個の考えをもとに筆者の「一番の罪業」について話し合わせる。 ・例えば、思考ツール等を扱い順位をつける等の活動が考えられる。その際、考えの模範を必ず述べさせる。 ・各組が考えた「一番の罪業」に着目させ、その違いを議論させる。
	・個で考えたことを班で話し合う。 ・班で話し合ったこと、全体で共有する。	A 複数の中心になっていじめたこと。 B T子さんの境遇を理解しなかったこと。 C 素直に謝ることや正直なことを言う勇気がなかったこと。	【整理(まとめ)】 ・各組の集まった考えをいくつか取り上げ、加害者側と被害者側の視点で整理し、まとめとする。
終末	3. 学習したことを自身の生活とつなげて考える。 ○筆者のような(T子さんのような)苦しみを抱えないために、今の自分にできること(すべきこと)をノートに書こう。		・特に発表させたりせず、十分に時間を保障する。 ・静かに自身を振り返らせ、考えたままをノートに記述させる。